

学科名	情報学科						
科目名	上級プログラミングⅡ						
科目区分	専門科目	単位数	1	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	勝瀬郁代・佐塚秀人						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・制御構造を利用したプログラムを作成できる。 ・配列を利用したプログラムを作成できる。 ・クラスを利用した基本的なプログラムを読んで理解できる。 ・クラスを利用した基本的なプログラムを自分で作成できる。 ・統合環境を用いたプログラムの作成から実行までの作業内容が実際に出来る。 						
日程と内容	<p>第1回：導入講義：本講義のガイダンスを行う。前期の範囲の復習を行う。</p> <p>第2回：制御構造について演習する。(6.1, 6.2, 6.3, 6.4, 6.5)</p> <p>第3回：配列の基礎について演習する。(7.1, 7.2, 7.3, 7.4)</p> <p>第4回：配列の応用について演習する。(7.5, 7.6, 7.7)</p> <p>第5回：クラスの構造について演習する。(8.1, 8.2, 8.3, 8.4)</p> <p>第6回：メソッドの引数と戻り値について演習する。(8.5, 8.6)</p> <p>第7回：メンバへのアクセス制限、メソッドのオーバーロードについて演習する。</p> <p>第8回：コンストラクタ、コンストラクタのオーバーロードについて演習する。(9.1, 9.2)</p> <p>第9回：復習</p> <p>第10回：クラス変数、クラスメソッドについて演習する。(9.3, 9.4)</p> <p>第11回：クラスの利用について演習する。(10.1, 10.2, 10.3)</p> <p>第12回：クラス型の変数、オブジェクトの配列について演習する。(10.4, 10.5)</p> <p>第13回：復習</p> <p>第14回：復習</p> <p>第15回：総合演習</p>						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題						
	演習	100%		計		100%	
授業到達目標の達成度	<p>本科目は選択科目の演習科目である。不合格となった者は、授業放棄を途中で放棄した者が多い。補習も含めて、演習を規定分以上こなせば合格になる。合格率は96%と十分に高く、授業の到達目標は達成している。</p>						
反省点	<p>途中から、一部の受講生が、毎回、他人の課題をコピーして提出しはじめた。何度注意しても改善されず、結果、それらの受講生は総合演習で得点できず、成績が振るわなかった。難しくなる後半からは、全問提出しなくてもよく、応用問題は提出しなくてもよい(減点はされるが)ことになっているのに、全問コピーして提出してくる。基礎的なことも理解できなければ次週の問題も解けない。悪循環が続いた。今は、平常の演習点が70%を占めていることがひとつの原因と思われる。総合演習との成績配分の見直しが必要である。</p>						
来年度の計画	今年度と同様に行う。ただし、能力別クラスわけを検討し、成績配分は見直す。						
授業評価アンケートに対するコメント	<p>授業アンケートの総合評価の平均が6.9と、低い。本科目の位置づけとして、必修のプログラミングⅡ演習の上級クラスであるため、クラスによっては、骨のある課題が続いていたためと思われる。歓迎する受講生もいる一方で、難しすぎると感じる学生も少なくないようだ。来年度は、能力別クラス分けを検討する。</p>						
履修登録者数	71名	定期試験 受験者数	54名	合格者数	52名	合格率	96%